

00 Background

商空間におけるパブリックトイレの現状

- 利用のしやすさ**
購買行動を伴わざとも誰もが利用できる公共性の高い空間。
- 利用者が不特定多數**
利用者は高齢者・乳幼児連れ・外国人などが含まれ、ニーズが複雑化している。
- 利用者に配慮した整備・基準が進展**
利用実態を受け、バリアフリー新法や各自治体のまちづくり条例をはじめとする制度整備が進められ、ユニバーサルデザインや多目的利用を前提としたトイレ計画が一般化してきた。



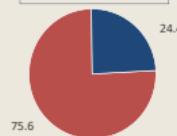
LIXIL ビジネス情報、「Kタワー横浜」、2023年7月竣工

01 Research

アンケート調査

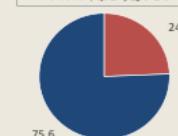
2024年12月に38名を対象としたアンケート調査を行い、商空間のトイレの使用状況について把握した。

トイレ利用目的で来店した際、
店舗に立ち寄ったことがあるか



トイレの価値を高める

買い物へ出かける場所を選択する際、
トイレの印象を考慮するか



→ 来店促進につながる

02 Site

愛知県名古屋市 円頓寺商店街

円頓寺商店街は、古き良き名古屋の風情を色濃く残すアーケード商店街である。「四間道」にも隨接し、下町的な雪国風と文化的な空気感が味わえる。江戸時代、名古屋城築城の際、通達の要として造られた堀川を利用して人々がこの地で遊びようになった。2015年にはアーケードを改修し、モダンな姿に生まれ変わった。明治から続く老舗点も点在する中、個性豊かな新しい店舗も加わり、現在約30店舗が軒を連ねる。



03 Problem 課題



- ・**パブリックトイレの不在**
商店街周辺には「パブリックトイレ」が存在しない。子連れ家族や高齢者にとって、立ち寄りやすいが長居できない場所となっている。
- ・**駐車場供給の過多**
老朽化した建物の取り壊され、空き地の多くは駐車場として存在している。駐車場の多さが道路との境界を乱し、景観を悪化させている。

04 Concept
コンセプト



商店街をひとつの大きな建築の箱として見立てる。
そこには必要なトイレや、なる要素を埋め込んでいく。
トイレが単なる設備ではなく、目的のある場所へ

05 Leyoutplan 街区設定

Site 1

飲食店や昔ながらの衣料店家具店、なごのサウナなど地元の人と観光客の両方が利用する街区。



Site 2

オフィスや学校住宅などが並び、地元の人利用多めの生活圏街区。



Site3

名古屋駅方面から始まるアーケードの終点かつ四間道地区とな交わる街区。



Site4

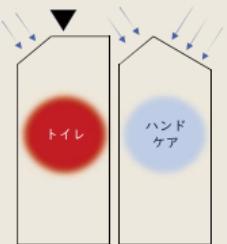
四間道に隣接する昔ながらの街並みが続き、隠れ家的な飲食店が入り混じる街区。



Site I トイレ × ハンドケア



■設計プロセス



箱状の建物が並ぶ商店街であるが、頂点を切り、窓を配置することで商店街との繋がりを強め、建物内の様子が見えやすいデザインを取り入れた。

■素材



■シナリオ

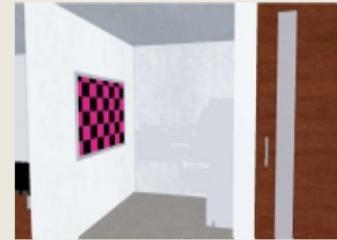


学校終了 → トイレ+ハンドケアでリラックス → 暑過ぎて友人と休み会 → サウナで整う

■+α『ハンドケア』



■トイレの機能

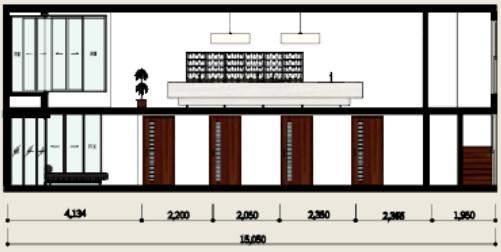


敷地付近に美容専門学校が複数あり、名古屋駅で働く社会人も多いため、話題となる『ハンドケア施設』を併設し、商店街への集客効果を図る。トイレ後の手洗いをより上質な時間にする。

■平面図 1:50



■断面図 1:50



Site 2 トイレ × 仮眠室



■+α[®]仮眠室



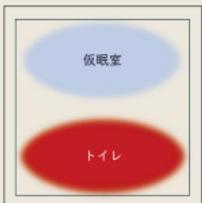
貸しオフィス施設「なごのキャンバス」が周辺にある為、
仮眠&小休憩できる空間を選んだ。
名古屋エリアと円頓寺を繋ぐ場所に。

■トイレの機能



8つの個室の内、内側4つをジェンダーレス多目的
トイレ、外側4つを左右男女別トイレとして配置する。
均等に配置し、選べるトイレにデザインした。

■設計プロセス



トイレと仮眠室の2つの役割が並ぶ。
周囲の建物と敷地を隔てる役割を持つ四角い
箱は穴を開け、防犯面や植栽が外から見える
デザインとした。

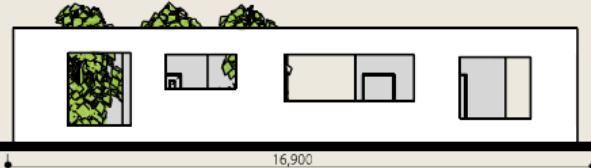
■素材



■平面図 1:50



■断面図 1:50

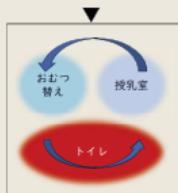


■シナリオ

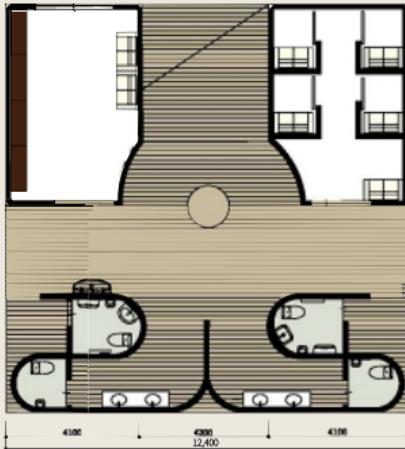


Site 3 トイレ × 子育て

■設計プロセス



■平面図 1:50



■素材

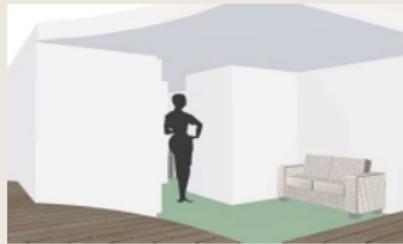


■シナリオ



丸の内のマンションから出発
裏庭公園で遊ぶ
トイレ+ベビールーム
パン屋さんでお買い物利用&小休憩

■+ α『子育て』



敷地全体ベビーカーを押して通ることの出来るゆとりのあるデザインにした。また、育児が少しでも楽しい気分になるようおむつ替えルームと授乳室は一部チェック柄とし、明るい印象を心掛けた。

■トイレの機能

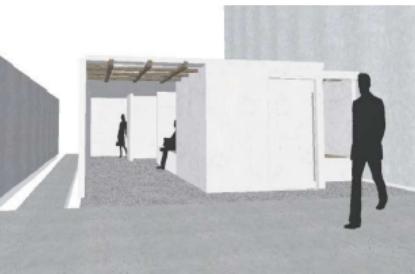


大きくカーブした壁面で個室を覆うデザインにした。
丸くすることで優しい印象を与え、子供が安心して利用できる
空間になるようイメージした。

■断面図 1:50



Site 4 トイレ × 和空間



■設計プロセス



和空間でありながら、シンメトリーな配置を意識し、特に夜間女性が安心して利用できるよう道路からの視線を意識して配置した。

■素材



■シナリオ



国際センター駅 下車 四周道の街並み 敷居 トイレ+畳のベンチで一息
通りにある隠れ家飲食店で食事

■+α『和空間』



敷地周辺に四周道の街並み保存地区がある為、和空間を意識したデザインを取り入れた。畳ベンチで一息付ける休憩空間を2か所配置した。

■トイレの機能



建物手前に多目的トイレ、中間に男性用トイレ、奥に女性トイレという配置にした。比較的待ち時間が長居と予想できる多目的トイレ、男性トイレ付近に休憩スペースを配置し、効率のいい動線を意識した。

■配置図兼平面図 1:50



■断面図 1:50

